

重要取組シート

教育委員会事務局

教育センター能力開発課 学校教育部教育課程

取組項目	総合的な学力の育成
現状・課題	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本市では、学習指導要領で示された資質・能力の内容をふまえ、学力を総合的な学力（①知識・技能、②思考力・判断力・表現力等、③学びに向かう力・人間性等）として捉え、その向上をめざしている。 ・総合的な学力を把握する指標のひとつとして、全国学力・学習状況調査における国語、算数・数学を合わせた正答率の割合を KPI としており、全国平均を 100 とした場合、令和 7 年度に小学校 6 年生で 103、中学校 3 年生で 100 を目標としている。令和 6 年度は、小学校 6 年生は 96.1、中学校 3 年生は 96.7 である。 ・全国学力・学習状況調査の正答率が 40%未満の児童生徒の割合は、全国平均を 100 とした場合、令和 6 年度は小学校 6 年生の国語は 127.7、算数は 112.9、中学校 3 年生の国語は 111.3、数学は 111.9 である。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 6 年度の全国学力・学習状況調査の結果では、小中学校ともに全国平均を下回っている。 ・全国学力・学習状況調査における学力低位層（正答率が 40%未満の児童生徒）の割合が中学校国語において改善傾向にあるが、全国と比較すると高い。 ・教科学力だけでなく、学習意欲等についても育成する必要がある。
取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○個々の子どもたちの総合的な学力の向上に向け、各種調査結果に基づく教育データの利活用を充実させることで、各学校園における PDCA サイクルを確立し、こどもの実態に応じた効果的な取組を実施する。 ○令和 7 年度は昨年度から進めている「子どもが自ら学びを進める授業」への改善をさらに進め、具体的実践を学校群の取組として広げるなど、さらなる周知、浸透を図る。 ・子どもたちの学習意欲を高め、子どもが自ら学びを進めるための授業の考え方を示した「学びのコンパス」に基づく授業改善を行い、子ども観、指導観、教材観の転換を図る。また、総合的な学力向上（こどもの学び）研究員加配を増員し、「学びのコンパス」に基づく授業事例を広く周知し、授業改善を加速させる。 ・総合的な学習の時間での取組に STEAM の視点を加えた事例集「堺 STEAM ブック」をさらに充実させ、研修等を通じて活用を促進し、探究的な学びの充実を図る。 <p>※STEAM・・・ Science、Technology、Engineering、Arts、Mathematics の頭文字をとった概念のこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学力向上に向けた 3 つのプロジェクトチーム（国語、算数・数学、総合・探究）を昨年度より立ち上げ、研修の実施、授業モデル、カリキュラムの作成等を通じて、「学びのコンパス」に基づく授業の具体化を進める。 ・昨年度、読解力を伸ばしている教員及び児童生徒のインタビュー内容を「子どもが自ら学びを進めるためのコンパスサポート（読解力）」に整理した。「コンパスサポート（読解力）」を活用し、読解力と関連付けて「学びのコンパス」の考え方に基づいた校内研修指導助言を行うことで、学校の授業改善を支援する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・個々のこどもの学力の伸びの把握と効果的な取組の実践に向けて、IRT（項目反応理論の手法）を活用した堺市学力状況調査を小学校4年生～中学校2年生で実施する。小中学校に、調査結果データとともに総合学力プロフィールを提供して、学力低位層のつまづきを把握し、分析を適切に行うなど、データを活用した学校教育活動を推進する。 ・集団の状況に着目する全国学力・学習状況調査、大阪府小学生すくすくウォッチ、大阪府中学生チャレンジテスト、堺市児童生徒学習・生活状況調査の各種データを分析し、学力向上に向けた効果的な取組を発信する。 ・学校教育目標に照らして、取組の評価・改善等について記載する検証改善分析シートや学校力向上プランをもとに、各学校が各種調査結果等から学校教育目標等の達成に向けて状況を把握し改善を進める。 ・教育課程連絡協議会等、機会を捉えてカリキュラム・マネジメントの具体的な進め方や好事例の発信、共有を行う。 <p>※カリキュラム・マネジメント・・・教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと</p>
スケジュール 前期 (～9月)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 全国学力・学習状況調査（小6、中3）実施（4月） <input type="checkbox"/> 大阪府小学生すくすくウォッチ（小5、小6）実施（4月） <input type="checkbox"/> 「学びのコンパス」に基づく授業改善を、校内研修を含む各種研修において推進。（4月～3月） <input type="checkbox"/> 「堺 STEAM ブック」について、校内研修を含む各種研修を通して、活用を推進。（4月～3月） <input type="checkbox"/> プロジェクトチームの活動（授業モデル、カリキュラムの作成）（4月～7月） <input type="checkbox"/> IRTを活用した堺市学力・学習状況調査（小4～中2）実施（5月～6月） <input type="checkbox"/> 教育課程連絡協議会におけるカリキュラム・マネジメントの進め方の発信（5月～6月） <input type="checkbox"/> ICT学習支援コンテンツの活用推進（5月～3月） <input type="checkbox"/> 読解力と関連付けて「学びのコンパス」の考え方に基づいた校内研修指導助言を実施（5月～3月） <input type="checkbox"/> 総合的な学力向上（こどもの学び）研究員による「学びのコンパス」に基づく授業改善に向けた伴走支援。（6月～3月） <input type="checkbox"/> 全国学力・学習状況調査結果返却及び分析（7月） <input type="checkbox"/> 大阪府小学生すくすくウォッチ結果返却及び分析（7月） <input type="checkbox"/> 各種学力調査等返却ごとに、小中学校で自校の学力等の分析を実施し、検証改善分析シートを作成・更新（7月～3月） <input type="checkbox"/> 小中学校で自校の学力分析に基づいた取組の実施（7月～3月） <input type="checkbox"/> 教育課程説明会の実施（教科横断的な視点での指導計画等）（7月～8月） <input type="checkbox"/> 総合的な学力向上に関する研修会実施（プロジェクトチームによる成果報告）（8月） <input type="checkbox"/> 大阪府中学生チャレンジテスト（中3）の実施（9月）
後期 (～3月)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 授業モデル、カリキュラムを活用した公開授業、研修を実施（10月～3月） <input type="checkbox"/> IRTを活用した堺市学力・学習状況調査の結果返却及び分析（10月） <input type="checkbox"/> 大阪府中学生チャレンジテスト（中3）の結果返却及び分析（10月）

		<input type="checkbox"/> 総合学力プロフィールを小中学校へ提供（11月～12月） <input type="checkbox"/> 小中学校で個人懇談時等に、総合学力プロフィールを活用（12月） <input type="checkbox"/> 大阪府中学生チャレンジテスト（中1、2）の実施（1月） <input type="checkbox"/> 教育課程連絡協議会におけるカリキュラム・マネジメントについての好事例の発信・共有（2月） <input type="checkbox"/> 大阪府中学生チャレンジテスト（中1、2）の結果返却及び分析・取組の発信（2月～3月）
	次年度以降	
進捗の状況	前期（～9月）	<input type="checkbox"/> 全国学力・学習状況調査（小6、中3）実施（4月） <input type="checkbox"/> 大阪府小学生すくすくウォッチ（小5、小6）実施（4月） <input type="checkbox"/> 「学びのコンパス」に基づく授業改善を、校内研修を含む各種研修において推進。（4月～） <input type="checkbox"/> 「堺 STEAM ブック」について、校内研修を含む各種研修を通して、活用を推進。（4月～） <input type="checkbox"/> プロジェクトチームの活動（公開授業による好事例の提示、カリキュラム作成に向けた実践事例の収集）（4月～7月） <input type="checkbox"/> IRTを活用した堺市学力・学習状況調査（小4～中2）実施（5月～6月） <input type="checkbox"/> 教育課程連絡協議会におけるカリキュラム・マネジメントの進め方の発信（5月～6月） <input type="checkbox"/> ICT 学習支援コンテンツの活用推進（5月～） <input type="checkbox"/> 読解力と関連付けて「学びのコンパス」の考え方に基づいた校内研修指導助言を実施（5月～） <input type="checkbox"/> 総合的な学力向上（こどもの学び） 研究員による「学びのコンパス」に基づく授業改善に向けた伴走支援。（6月～） <input type="checkbox"/> 全国学力・学習状況調査結果返却及び分析（7月） <input type="checkbox"/> 大阪府小学生すくすくウォッチ結果返却及び分析（7月） <input type="checkbox"/> 各種学力調査等返却ごとに、小中学校で自校の学力等の分析を実施し、検証改善分析シートを作成・更新（7月～） <input type="checkbox"/> 小中学校で自校の学力分析に基づいた取組の実施（7月～） <input type="checkbox"/> 教育課程説明会の実施（教科横断的な視点での指導計画等）（7月～8月） <input type="checkbox"/> 総合的な学力向上に関する研修会実施（プロジェクトチームによる成果報告）（8月） <input type="checkbox"/> 大阪府中学生チャレンジテスト（中3）の実施（9月）

	後期 (~3月)	<input type="checkbox"/> 公開授業における好事例の提示及び作成したカリキュラムを活用した研修の実施（10月～3月） <input type="checkbox"/> IRTを活用した堺市学力・学習状況調査の結果返却及び分析（10月） <input type="checkbox"/> 大阪府中学生チャレンジテスト（中3）の結果返却及び分析（11月） <input type="checkbox"/> 総合学カプロフィールの小中学校への提供及び活用研修の実施（11月） <input type="checkbox"/> 小中学校で個人懇談時等に、総合学カプロフィールを活用（12月） <input type="checkbox"/> 大阪府中学生チャレンジテスト（中1、2）の実施（1月） <input type="checkbox"/> 教育課程連絡協議会におけるカリキュラム・マネジメントについての好事例の発信・共有（1月～2月） <input type="checkbox"/> 大阪府中学生チャレンジテスト（中1、2）の結果返却及び分析・取組の発信（3月）	
2025 堺市基本計画	該当する 施策	3- (2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進	
	寄与する KPI	学力調査の堺市の平均値（全国を100とした場合） [現状値 小6 100.5 中3 95.8（2019年度）、 小6 96.1 中3 96.7（2024年度）]	目標値（2025年度） 小6 103.0 中3 100.0
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 4	質の高い教育をみんなに
	寄与する KPI	学力調査の堺市の平均値（全国を100とした場合） [現状値 小6 100.5 中3 95.8（2019年度）、 小6 96.1 中3 96.7（2024年度）]	目標値（2025年度） 小6 103.0 中3 100.0